

スマートフォンを活用したレジ業務省力化と、お客様の利便性向上の実証実験

取り組みの背景

お客様

共働き世帯の増加
↓
お買物に時間がかけられない

店舗

労働人口の減少
↓
人手不足

技術の進歩

ICTの進化
スマートフォンの普及
キャッシュレス決済の拡大

取り組み内容

レジアプリを搭載したスマートフォンをお客様に貸与し、お客様自身が商品バーコードをスキャンできる「スマホPOS」の実証実験を行いました。利用終了後はアンケートをご記入いただき、広く利用者様のご意見を収集させていただきました。



■実施期間
2019年11月11日(月)～30日(土)

■実施店舗
アルク秋月店 (山口県周南市秋月)

■運営会社
株式会社 丸久 (リテールパートナーズ連結子会社)

■利用資格
・電子マネー付きポイントカード「maruca」の会員様。
・利用後にアンケートをご記入いただけること。

■スマートフォン
貸出 (10台)

狙い/メリット

お客様

レジ待ち時間の短縮。さらに、電子マネーにより支払いもスピーディ。
スマートでスピーディな、新しい購買体験

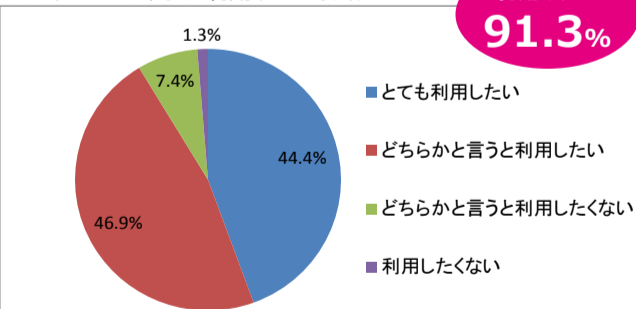
店舗

レジ業務の省力化

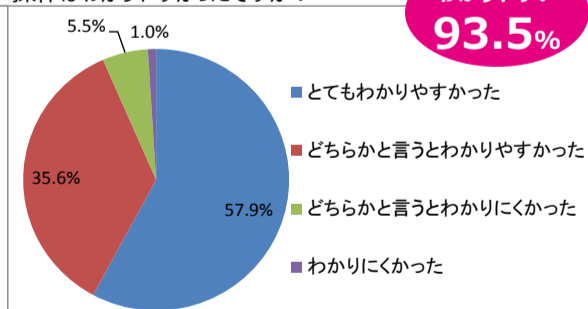
お客様の反応

目標を超える延べ 1,113 人のお客様にご利用いただき、アンケート結果も非常に良好でした。

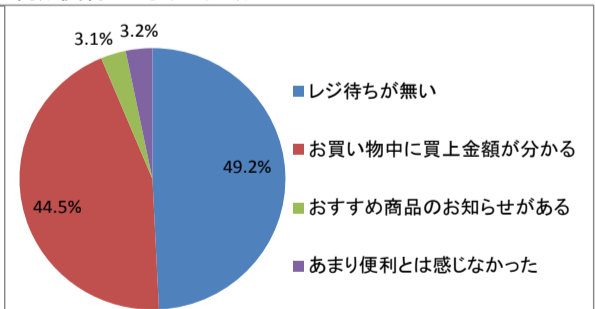
スマホレジを、今後も利用したいですか？



操作はわかりやすかったですか？



何が便利だと感じましたか？



課題と期待

クーポンやお買い得情報、電子レシートなどを強化し、単なる「レジアプリ」ではなく、お客様にとって「便利でお得なアプリ」に進化させる。

スキャンミスなどの間違いが起りにくい「安心して使えるアプリ」への進化。

より多くのお客様にご利用いただける「スマホPOS」に